

背筋を伸ばして何かを見つめる少女。固く結ばれた口元と真剣な眼差しから緊張している様子が伺えます。

作者の中澤弘光(1874~1964)は、日向佐土原藩藩士の父を持ち、明治から昭和にかけて活躍した洋画家です。若くして曾山幸彦に師事し、後に堀江正章や黒田清輝に学びました。中澤が「婦道を説く教師の訓示を聞いている少女の像」と話す本作。描かれている少女は実在した人物で、この絵を見て一目惚れした男性が後に夫となったことから、縁結びの絵画ともいわれています。中澤の特徴である破綻のない確実な描写と豊かな色彩によって、モデルとなった少女の魅力を最大限に引き出した一枚です。

※本作は、7月9日(火)から開催する収蔵作品展「にんげんっていいな」で展示予定

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

「静聴」

中澤 弘光 作 (1951年)



History exploration | 歴史探訪!

鱧口

神社仏閣の軒先に掛けて誓願成就を祈念する*梵音具の一種である鱧口。鱧はサメのことを指していて、側面に見られる一文字の切り込みがサメの口のように見えることから鱧口と呼ばれます。

写真の鱧口は、現在の高崎町笛水氏益にある観音堂で所蔵されていたものです。銘文には「文明十五癸卯年東善寺鱧口一口」や「願主 日州柏原」などの文字が刻まれています。この鱧口が観音堂にもたらされた経緯や銘文の詳細などは不明な部分もありますが、市内に残る唯一の鱧口であることや銘文により1483年に製作されたと推測できることから、貴重な文化財として令和5年度に市指定文化財となりました。

*儀式などに用いる仏具の中で音が鳴るものの総称



鱧口(上面)



鱧口(側面)

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547



おんてっぽうちよう 御鉄砲帳 おどうぐちよう 御道具牒 二ノ二

都城市立 伝承館 だより

「御鉄砲帳 御道具牒 二ノ二」

この史料は、1778(安永7)年7月に、都城島津家の諸道具管理を担う御納戸方役人5人が作成した鉄砲台帳です。既存の帳簿を見ながら鉄砲の照合作業が行われていましたが、削除部分が多く作業に支障が出たため、新たに清書したようです。江戸時代においても、こうした照合作業が重要視され、正確な物品管理がなされていたことがうかがえます。

2分冊にわたり約130挺もの鉄砲が記載されている本鉄砲台帳。そのうちの約6割が鹿児島藩内で生産されたとみられる「薩摩筒」という火縄銃です。「薩摩筒」は、発火装置や装飾など、他地域のものとは異なる特徴を備えていて、同藩の独自性が垣間見えます。また、この台帳には、都城島津家はその銃を大量に所有していたことも記されています。

江戸時代における銃管理の綿密さと、都城島津家がいかに武器の備えを行っていたかがうかがえる貴重な史料です。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116

※都城島津伝承館は、展示設備改修のため8月2日(金)まで臨時休館



制作部 宝満美桜さん

地域情報を届けるケーブルテレビ局として、平成9年に開局したBTV株式会社。現在は、都城本社を拠点に、日南・鹿児島・志布志に支局を持ち、対応エリアも宮崎・鹿児島県内の6市2町と拡大してきました。本市内では5割近い世帯がケーブルテレビに加入していて、地域に欠かせない情報インフラとして重要な役割を果たしています。また、時代とともに多様化する地

域ニーズに 대응するため、インターネットや電話、モバイル端末などの通信分野でも事業を展開するなど、幅広いサービスを提供しています。取材力が強みの同社は、令和4年に南海トラフ巨大地震をテーマに地震への危機意識や防災意識を高める番組を制作。何度も足を運ぶことで得られたコメントなどが評価され、日本ケーブルテレビ大賞最優秀新人賞を受賞しました。「人と地域をつなぐ懸け橋となり、地域の皆さんに役立つ情報を届けた」と話すのは、制作部の宝満美桜さん。「地域の皆さまが主役」がモットーの同社で、地域密着の思いを大切に番組制作に取り組んでいます。「取材先で出会う人の笑顔や視聴者の声が原動力。6月からMCを務めるグルメ番組『天然うまうま』では、食を通して地域の新たな魅力を発信したい」と目を輝かせていました。

Corporate Power

都城をけん引する企業を紹介

企業の力

Vol.46

BTV株式会社

☎0120-292-377



「みやこんじょジャーナル」では市の取り組みを紹介しています

今月の読者プレゼント



宮崎チキンバラエティセット 20人

プレゼント提供事業者

宮崎くみあいチキンフーズ株式会社(都城食品工場(上水流町2832) ☎45-3255

飼料にこだわり、県内の契約農場で育てた安全・美味・新鮮な「JAチキン」。今回は、もも肉切り身と希少部位の小肉、ハラミ、ヤゲン軟骨のセットをプレゼントします。バラエティ豊かな食感をお楽しみください。

プレゼントの応募方法

- はがきに住所、氏名、電話番号と、7月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。
- 応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。
- ◎応募締め切り 7月31日(水) 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙9月号
- ◎5月号当選者 まめさん ほか2人
- ◎5月号応募総数 90通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

POST CARD

63円切手をお貼りください

8 8 5 8 5 5 5

都城市役所 秘書広報課 行

(広報都城 No.223 2024年7月号)

フリガナ
氏名

ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合は、イニシャルで表示させていただきます

住所 □□□□□□

電話番号 () -

▶点線に沿ってお切りください(郵便はがきでも可)

私の夢

後藤 龍介さん 乙房小6年

科学者になって
ノーベル賞を取りたい



都城市現住人口

令和6年6月1日現在	前月比	前年比
世帯数 73,618世帯	(-16)	(1,588)
人口総数 159,646人	(-101)	(1,777)
男性 75,173人	(-42)	(988)
女性 84,473人	(-59)	(789)

※令和2年国勢調査に基づく推計人口



スマートフォンからも統計情報を確認できます。

編集後記

28ページの広報紙。表紙の良し悪しで読む読まないを判断されるかもしれません。写真で如何に目を惹くか。生き生きとした表情など熱量が伝わるものや瞬間を捉えたもの、心が温かくなるようなものなど、テーマは多くありますが、何を伝えたいか“ねらい”が大事だと思っています。今月号はどうでしたか。(博)

小学生の甥っ子とトランプで神経衰弱をしました。小学生相手だと気を抜いていたら、見事に完敗。自身の記憶力の衰えを突き付けられる結果となりました。本号の10ページで紹介する「スマイルみやこんじょ」には、年齢に関わらず利用できる脳トレゲームもあるとのこと。さっそく利用したいと思います。(つ)

都城の豊かな自然の中、チョウやトカゲを探し回る息子たち。私も風景写真の撮影や催しなどの取材に出かける度に季節の移ろいを肌で感じ、被写体を追いかけています。このような日常を送っていると、息子たちの姿と重なり幸せを感じるとともに、良き見本になれるよう身が引き締まる思いがします。(賢)

都城フィロソフィ²⁷

◎問い合わせ フィロソフィ推進課 ☎23-7163

第2部 素晴らしい都城市とするために

第3章 燃える集団となる

よく働き、よく遊ぶ

仕事は、人生の多くの時間を費やすものです。仕事に一生懸命に取り組み充実感を得ることは、人生を豊かにします。仕事で得る生きがいや喜びは人生にとって欠かせないものですが、一方で、私たちは家族や地域に支えられて生きています。

私たちがライフステージに応じて、家族や地域のためにできることを意識し、仕事以外の場でも仕事と変わらぬ情熱を持つことができれば、人生の喜びは増していきます。

仕事以外の場でも視野を広げ、自分を高めるとともに、心身の健康を養うことも重要です。常に一生懸命に前向きな姿勢で、両者の調和を図ることで、人生の喜びは倍増します。

届けたい都城の風景



「祝吉ホタルの里」(郡元3丁目)



「あじさい公園」(山之口町花木)



日本一のお肉王国「都城メンチ」プロジェクト。わたしたちはまだ、メンチカツを知らない。令和4年12月に始動した「都城メンチ」プロジェクト。畜産産出額日本一のお肉王国「都城」で愛されてきた「メンチカツ」の魅力発信のため、地元の特産店や飲食店、道の駅など市全体でプロジェクトを進めてきました。現在、市内20店舗以上で購入できる「都城メンチ」。各店舗の強みを生かしたオリジナルの「都城メンチ」を味わうことができます。

都城メンチ憲章

1. 私たちは、都城の自然を愛し、その自然が育んだ素材にこだわります。
2. 私たちは、都城が育てた豚をはじめとする農林畜産物を使用します。
3. 私たちは、自然豊かな都城の美味しい水でお肉を育てます。
4. 私たちは、どこよりもおいしいメンチカツを提供することに努力を惜しみません。
5. 私たちは、個性あふれる都城メンチを目指します。
6. 私たちは、都城メンチを買ってくださったお客さまへの感謝を、一生忘れません。
7. 私たちは、都城メンチで、世界中の食欲をかきたて、世界中の胃袋を全力で満たします。



毎月14日は「都城メンチの日」。今年6月から、毎月14日を「都城メンチの日」と定め、各店舗でさまざまな取り組みを実施しています。特別メニューを提供するテイクアウト店やプラーズ1品のサービスがある飲食店など、「都城メンチ」を食べたくなる企画が盛りだくさん。詳しい内容は、随時公式インスタグラムでお知らせします。情報をお見逃しなく！



新刊紹介

おすすめ図書 ◎問い合わせ
市立図書館 ☎22-0239
高城図書館 ☎58-4224



サムとデイブ、あなをほる
マーク・バーネット(文)、ジョン・クラッセン(絵)、あすなろ書房(出版)
サムとデイブは、あなほりたんけんたい。すっごいものを見つけるために、どこまでもほりつづけます。へとへとになったふたりがあなの中でねむっていると…。



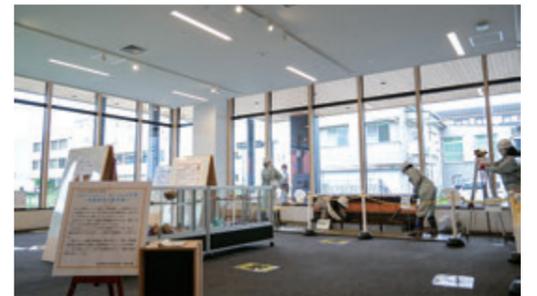
マンガでわかる考古遺跡発掘ワークマニュアル
今井しょうこ(著)、創元社(出版)
遺跡の発掘調査事務所で働く著者の日常を漫画で分かりやすく解説。地域ごとの発掘道具の違いや出土品の違いなど、歴史資料館を訪れるのが楽しくなる一冊です。

【市立図書館】 ●休館日/なし
●開館時間/9:00~21:00

【高城図書館】 ●休館日/7月2日・9日・15日・16日・21日・23日・30日、8月6日・11日・13日
●開館時間/9:30~18:00

まちなか de わくわく

都城市発掘60年
~みやこんじょに生きた人々~(無料)



本市での発掘調査は、1964年の本格的な実施以降、400カ所以上で行われてきました。本企画展では、60年間の発掘調査史を振り返りながら、最新の調査結果を紹介します。

■会期 7月12日(金)~8月2日(金)
9時~21時 ※最終日は12時まで

■場所 市立図書館
※ギャラリートークやワークショップを予定。詳しくは、市ホームページを確認ください

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

